事業番号　0133

平成２３年行政事業レビューシート　（文部科学省）

事業名	高校生の留学促進	担当部局庁	初等中等教育局	作成責任者	
事業開始・終了（予定）年度	平成１５年度～	担当課室	国際教育課	国際教育課長 中井　一浩	
会計区分	一般会計	施策名	ＸⅢ－１　国際交流の推進		
根拠法令（具体的な条項も記載）	―	関係する計画、通知等	教育振興基本計画（平成20年7月1日閣議決定）		
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	国際化が著しく進展しているため、高校生段階における国際交流を通じて、広い視野を持って異文化を理解し、これを尊重する態度や異なる文化を持った人々と共に生きていく態度を育成する。				
事業概要（5行程度以内。別添可）	民間団体が実施する高校生の派遣プログラム（原則1年間）に参加する生徒のうち、学資補填を必要とする家庭の子女で成績優秀である者を対象に、留学経費の一部（1人50万円）を支援するため、同団体からの申請に基づき、留学支援金、支援対象者選考経費等を補助。				
実施方法	□直接実施　□業務委託等　■補助　□貸付　□その他				

予算額・執行額（単位：百万円）

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
予算の状況	当初予算	28	32	29.3	27.4	822.3
	補正予算	0	187	0	0	
	繰越し等	0	0	0	0	
	計	28	219	29.3	27.4	822.3
執行額		28	212	29.3		
執行率（%）		100.0%	96.5%	100.0%		

成果目標及び成果実績（アウトカム）

成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値（24年度）
留学生交流の充実度合い（高等学校等における海外派遣生徒数）・留学（3ヶ月以上）	成果実績	人	3,190	―	―	向上していること
	達成度	%	維持	―	―	
留学生交流の充実度合い（高等学校等における海外派遣生徒数）・研修旅行（3ヶ月未満）	成果実績	人	27,025	―	―	向上していること
	達成度	%	維持	―	―	

活動指標及び活動実績（アウトプット）

活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
支援金の対象者数	活動実績（当初見込み）	人	40	373	54 （54）	― （50）

単位当たりコスト	541，815（円／人）	算出根拠	平成22年度実績額／支援金の対象者数

平成23・24年度予算内訳

費　目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由
国際文化交流促進費補助金	27.4百万円	821.3百万円	留学支援金の対象高校生の増（50人 ⇒ 2，000人）
教職員研修費		1.0百万円	対象高校生の増を踏まえた新たな広報費用の増
計	27.4百万円	822.3百万円	

事業所管部局による点検

	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	補助金対象業務と団体固有業務との区別が不明瞭とならないよう、補助金対象業務の一層の透明化を図る。 また、事業の具体的な実施状況については、補助事業者からの報告書のみで把握してきたことから、平成22年度から現地調査も併せて行っており、平成23年度以降も継続して行う。		

予算監視・効率化チームの所見

一部改善	1．事業評価の観点：この事業は、国際交流の推進を図るため、民間団体が実施する高校生の派遣プログラムに参加する生徒のうち、学資補填を必要とする家庭の子女で成績優秀である者を対象に、留学経費の一部を支援するため、同団体からの申請に基づき、留学支援金、支援対象者選考経費等を補助する事業であり、長期継続事業及び予算執行の観点から検証を行った。 2．所　　　見：この事業は、平成１５年度から行っている長期継続事業であるが、今後も高校生の交流の推進を図るため引き続き実施すべき必要な事業である。しかしながら、これまでの事業の成果の検証を行い、事業の効果的・効率的な実施を目指し、コスト縮減等に努めるべきである。

上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）

平成２４年度概算要求においては、補助金の積算を見直しにより選考経費等を削減し、▲2百万円反映しつつ、グローバル人材の育成を推進するため、事業を再構築し、日本再生重点化措置として要望。

補記 （過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：百万円）	文部科学省 29.3百万円 民間団体が実施する高校生の派遣プログラムに参加する生徒のうち、学資補填を必要とする家庭の子女で成績優秀である者を対象に、留学経費の一部を支援する。 ↓【補助】 国際文化交流促進費補助金: 29.3百万円 A. 全国高校生留学・交流団体連絡協議会 支援対象者の募集・選考、留学支援金の支給　等 ↓【支給】 留学支援金: 27百万円 B. 留学生(個人)(54名) ※留学支援金として、1名あたり、50万円を支給

費目・使途
（「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載）

A.全国高校生留学・交流団体連絡協議会

費　目	使　途	金　額 （百万円）
留学支援金	個人給付	27.0
印刷製本費	要覧作成費等	1.4
通信運搬費	要覧発送料、合否通知送料等	0.8
諸謝金等	審査員謝金、支援金手続き等の補助者賃金、支援金振込手数料	0.1
計		29.3

B.留学生（個人）

費　目	使　途	金　額 （百万円）
留学支援金	派遣プログラム参加費への充当	27.0
計		27.0

C.

費　目	使　途	金　額 （百万円）
計		0

D.

費　目	使　途	金　額 （百万円）
計		0

E.

費　目	使　途	金　額 （百万円）
計		0

F.

費　目	使　途	金　額 （百万円）
計		0

G.

費　目	使　途	金　額 （百万円）
計		0

H.

費　目	使　途	金　額 （百万円）
計		0

支出先上位10者リスト

A.　国際文化交流促進費補助金

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
1	全国高校生留学・交流団体連絡協議会	支援対象者の募集・選考、留学支援金の支給　等	29.3	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※　本事業は、補助事業である。

B.　留学支援金

	支　出　先	業　務　概　要	支　出　額 （百万円）	入札者数	落札率
1	個人（54名）	（派遣プログラム参加費への充当）	27.0	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					